

女性活躍ワンストップ拠点推進【京都府】

総事業費	8,708 千円
交付金額	6,531 千円

地域の実情と課題

- コロナ禍を背景とした女性の不安増加
 コロナ禍が長期化する中で女性の社会的・精神的不安が多様化・深刻化しており、女性の自殺者も増加するなど、不安を持つ女性への支援が必要
 ○自殺者数 女性 [R元：105名] → [R3：128名(+21.9%)]
 <京都府> 男性 [R元：218名] → [R3：251名(+15.1%)]
- 原油価格や物価の高騰による女性への影響
 国際情勢による原油価格や物価の高騰により、生活への影響が出ており、悩みを持つ女性が増える新たな要因となっている。
- 新しい女性支援法の成立
 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立したことから、女性支援の受け皿となる人材や団体の育成が必要

事業の特徴

コロナ禍の長期化や原油価格や物価の高騰により、社会面・経済面など様々な困難・課題を抱える女性が増加していることから、女性活躍ワンストップ拠点化した京都テルサを核に、京都府男女共同参画センターの相談体制を強化するとともに、NPO団体等の専門性を生かして、セーフティネットから就業に至るまでの幅広い支援を実施した。

事業の効果

相談事業に関しては、コロナ禍の長期化や原油価格や物価の高騰の影響もあり、様々な世代の女性から、様々な相談が多数寄せられた。京都府男女共同参画センター・民間団体の相談窓口共に深刻な相談も多く寄せられ、当事業が困難を抱える女性のセーフティネットの役割を果たした。
 また、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の成立もあり、女性支援の受け皿となる人材や団体の育成が求められる中、女性活躍応援塾(つながりサポートコース)では63人の参加者があり、多くの人材を育成した。

目的・目標

事業全体での相談・カウンセリング件数
 目標：2500件 → 実績：3063件

(※)京都府男女共同参画センターの既存体制での相談件数1,087件を含む

連携団体

連携団体名：輝く女性応援京都会議(22団体)

京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、(一社)京都経営者協会、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、(公財)大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、(公財)21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

今後の課題

困難を抱える女性への支援が求められる中、女性相談による支援は重要性を増しているが、相談事業実施のための財源確保が課題となっている。

事業の概要

① 京都府男女共同参画センターの相談体制の強化

京都府男女共同参画センターの相談員を1名増員して電話相談体制を強化すると共にオンライン相談にも対応した。

相談件数 845件

[委託先: 一般財団法人京都府民総合交流事業団]

② 民間団体による女性相談・伴走支援の実施

民間団体の専門性を活用した無料電話相談や無料カウンセリングを実施するとともに、継続的なサポートが必要な相談者に対して伴走支援を実施した。

・無料電話相談 438件

[委託先: 公益社団法人葵橋ファミリー・クリニック]

・無料カウンセリング 483件

[委託先: 株式会社ウィメンズカウンセリング京都]

・府南部地域女性相談 210件

[委託先: 特定非営利活動法人アウンジャ]

③ 女性活躍応援塾(つながりサポートコース)の実施

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の成立を受け、女性支援の受け皿となる人材や団体を育成するため、困難女性への支援に取り組むNPO団体等や相談員が塾生となって、支援のノウハウを学びながら困難女性への支援を実践することで、人材や団体を育成するとともに団体の活動を支援した。

・参加人数 39名 [委託先: 一般財団法人京都府民総合交流事業団]

・参加人数 24名 [委託先: ふくちやまCAP]

